efit+ for Recon (Ver1.02)
静止測量　簡易取扱説明書

株式会社 ニコン・トリンブル
マーケティング部

観測前の注意事項

この簡易取扱説明書は efit+ for Recon(Ver1.02)（以下efit+）を使用した作業を対象としています。efit+のバージョンは**画面下部の[Ver]アイコンをタップして**確認して下さい。
その他のバージョンでは操作が異なることがありますのでご注意ください。

観測を行う際は、必ず衛星と時刻同期が取れる（衛星が捕捉できる）場所で操作して下さい。
受信機によっては衛星との時刻同期が正しく行われなかった場合にはReconのシステム上の時計が狂う可能性があります（データロギングには問題ありませんが、他の作業に影響を及ぼす可能性があります）。その場合はRecon本体の設定のシステムにて時刻を合わせてからご使用下さい。

静止測量、及び高速静止測量には5800/R8のBluetoothは機能しません。
受信機には予め電源を入れ、ケーブルを接続してからefit+を起動して下さい。

スケジュール観測は4600LS受信機のみ対応しております。

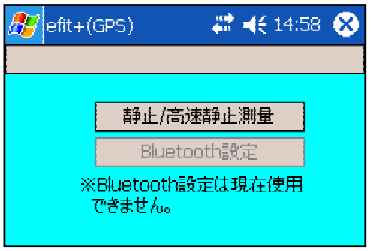
efit+の後処理用測量方法において、「公共」がつく測量は予め内部に記憶された値（下記参照）を元に観測を行います。
公共測量でも下記設定値以外で観測を行う場合には[条件設定]にて値を設定し、「公共」がつかない観測方法にて行うようにして下さい。
「公共静止測量」の設定値
- •仰角マスク･･･15度
- •エポック間隔･･･30秒
- •最少衛星数･･･4個
- •観測時間･･･80分

「公共高速静止測量」の設定値
- •仰角マスク･･･15度
- •エポック間隔･･･15秒
- •最少衛星数･･･5個
- •観測方法･･･固定観測時間
- •観測時間･･･30分

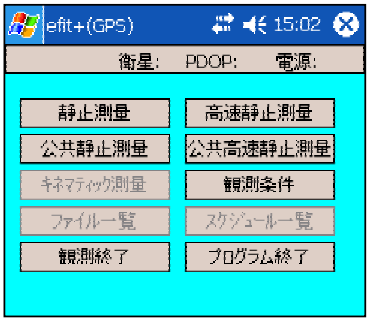
静止測量　観測前条件設定

efit+で静止測量を行う前に観測条件の設定を行います。

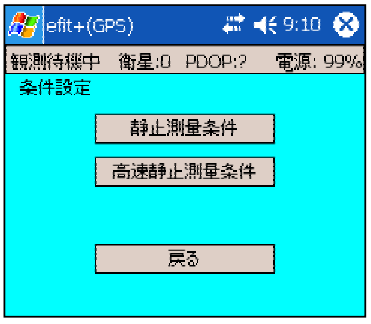
efit+の[GPS静止/高速静止観測]を起動します。
メイン画面の[静止/高速静止測量]をタップします。



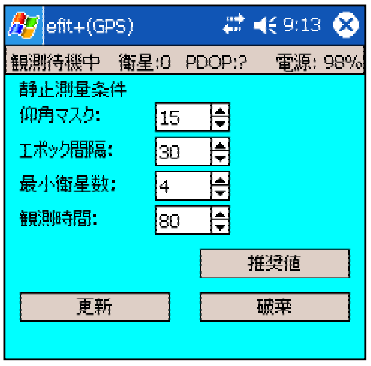
メニューの中から[観測条件]をタップします。



条件設定のメニューから[静止測量条件]をタップします。



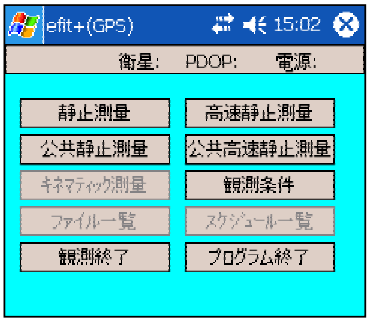
それぞれの条件を入力し、[更新]ボタンをタップします。
その後、条件設定のメニューで[戻る]をタップし、メニューまで戻ります。
([更新]ボタンを押さないと設定値が反映されません)



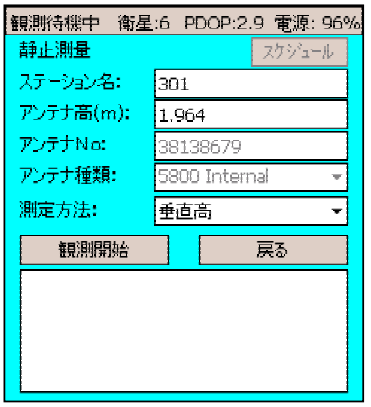
静止測量

efit+で静止測量を行う方法です。

efit+を起動し、[GPS静止/高速静止観測]をタップします。
メニューより[静止測量]をタップします。



各項目を入力し[観測開始]ボタンをタップします。
5700/R7をご使用の場合は[アンテナNo]と[アンテナ種類]を入力して下さい。

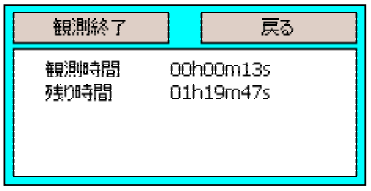


観測中は下のステータス画面に右のように[観測時間]と設定した時間までの[残り時間]を表示します。

設定した[観測時間]が過ぎると[残り時間]は消え、[観測が終了しました]というメッセージが表示されます(観測は継続されます)。

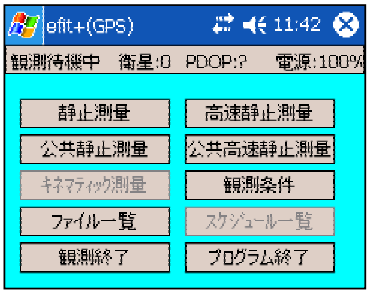
観測が終了したら[観測終了]をタップし、メニューに戻り[プログラム終了]をタップします。

受信機・Reconの電源を切ります。

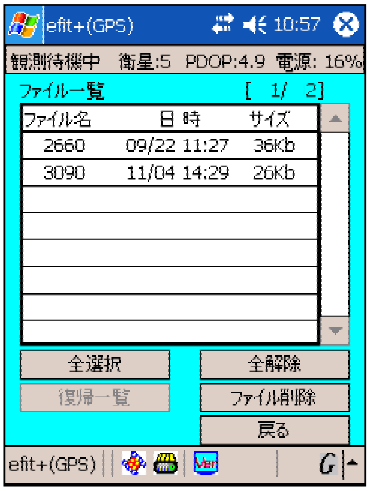


観測ファイルの削除

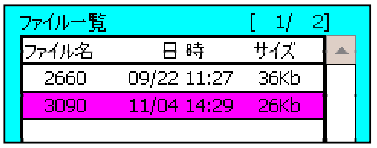
受信機と接続し、efit+を起動します。
[GPS静止/高速静止観測]をタップします。
メニューより[ファイル一覧]をタップします。



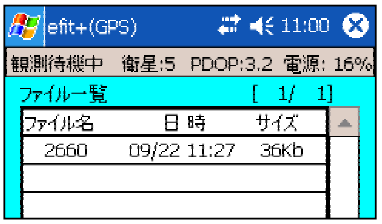
受信機内に存在する観測ファイルが一覧となって表示されます。



削除するファイルをタップし、[ファイル削除]ボタンをタップします。

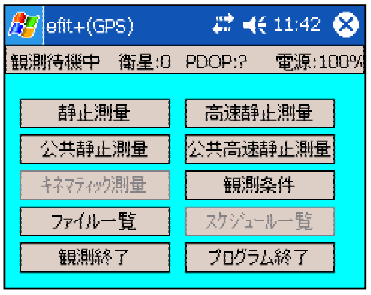


確認メッセージで[OK]をタップするとファイル一覧から削除されます。

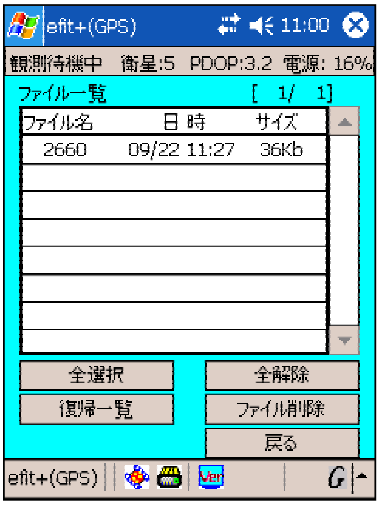


削除した観測ファイルの復帰

受信機と接続し、efit+を起動します。
[GPS静止/高速静止観測]をタップします。
メニューより[ファイル一覧]をタップします。

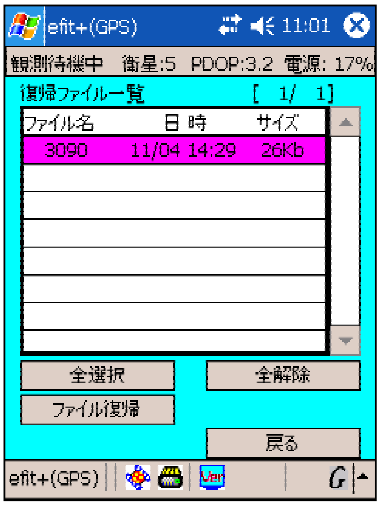


受信機内に存在する観測ファイルが一覧となって表示されます。
[復帰一覧]ボタンをタップします。



復帰可能なファイルが一覧で表示されますので、復帰させるファイル名をタップし、[ファイル復帰]をタップします。

確認メッセージで[OK]をタップすると削除されたファイルが復帰します。



efit+ for Recon (Ver1.02)
静止測量　簡易取扱説明書

発行	:	2005年1月1日(初版)
制作・著書	:	株式会社ニコン・トリンブル